



そのだ南

尼崎市立園田南小学校
学校便り 第 10 号
平成 31 年 1 月 8 日

HPアドレス www.ama-net.ed.jp/school/E45/index.html



『子育てしぐさ』から見えてくるもの

校長 佐藤 喜代子

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

年末年始はゆっくりといい時間を過ごせましたでしょうか？平成を締めくくろうとしている今、心新たに次の時代に向けてスタートを切る 2019 年の幕開けです。

2 学期の終業式でお正月に出てくるものに少しふれました。今は、そのものすら知らなかったり、行事食といわれるものもピンと来ない（食べない）若者も少なくないようです。節目のあいさつである年賀状ですら、出さない派が増えてきているといえます。SNS のやりとりで充分かもしれませんが、日本ならではの良さも大事にしてほしいとついつい思ってしまう。

冬至にカボチャを食べたり、ゆず湯に入ったり、お正月に飾るしめ縄や門松、おせち料理などなど、むかしの人は本当にうまく考えたもので、それぞれに意味をもち、願いや思いがこもっているということにあらためて歴史と情を感じます。子どもたちが楽しんで練習している百人一首もその一つです。これからの世代に受け継いでいくためには、子どもたち自身が大事にしたいと思う心が必要です。

「江戸の子育てしぐさ」ということばがあります。江戸しぐさには、いろいろな説がありますが「子育てしぐさ」とは、「**三つ心。六つ躰(しつけ)。九つ言葉。十二文(ふみ)。十五理(ことわり)で末決まる。**」というものです。

心の糸をしっかりと張る時期 三つ心・・・人間は成育段階に、それにふさわしい育て方をしなければ、責任ある社会人にはなれません。人間も相手の状況を見極めながら、段階を踏んで打っていくことが大事だと江戸の人は考え、自分の子にも、よその子にも、その心で接していたといえます。江戸の町衆たちは、人間は頭(脳)とからだと心の三つからなっていると考え、心を、頭と体を結びつける操り糸のようなものと考え、数え年の三歳までに、この見えない糸をしっかりと張らねばならないと考えました。糸は一日一本として、三年で約千本を張るつもりで、親ならだれもが心がけよ、というわけです。

糸で頭と体を操る、これが心の役割です。目つき、表情、ものの言い方、身のこなしなど、わが身からしぐさになって出るものすべて、この心がコントロールするのだということを子どもに悟らせました。心は目には見えませんが、しぐさになるとだれの目にも明らかです。しぐさには、その人の心のありようが表れます。それほど江戸の人は心の育ちを第一に考え、親やおとなのしぐさを見習わせました。

三歳児は海面が水を吸うように様々なことを理解していきます。誰に教えられなくとも、良知良心をもっています。この時期にこそタイムリーに人間性を養い育てることが重要なのです。これが「三つ心」ということです。

トレーニングで身につける時期 六つ躰(しつけ)・・・数え年の六歳までには、からだと頭(脳)を結ぶ糸の上手な動かし方を、手取り足取りまね(学び)させます。教えるのではなく、お母さんやお父さんがすることを、ひたすらまねさせるのです。人とのあいさつや対応、迷惑をかけないしぐさや親切、ごはんの食べ方、箸の使い方、履物の脱ぎ方など、日常茶飯事のしぐさを、身につけてくせになるまで、繰り返し繰り返し行わせて、自然にそのしぐさができるようにします。

才覚が見える時期 九つ言葉・・・数え年の九歳までに、どんな人にも失礼でないあいさつができるようにします。才覚や将来性はほとんどこの時期に決まります。このころになるともう判断力もありますから、悪いしぐさも出てきます。

一人前のことができる時期 文(ふみ)十二・・・数え年で十二歳になったら、主の代書ができるようにします。注文書や請求書、苦情処理書まで書かせたそうです。商家には、万一、主が亡くなっても跡取りがすぐに代行できるよという用意周到さが求められました。

末を志す時期 理(ことわり)十五で末決まる …数え年で十五歳にもなると、ものごとの道理が理解できるようになります。経済、物理、化学、心理学など森羅万象が、実感として理解できるのはこの時期で、孔子がいう「十有五にして学を志す」というのも、この年齢になると人に言われなくても、自分の行く末がわかって「志」をもつようになる、ということです。この年齢までには、完全に躰はくせになって身についていて、いっぱしのおとなです。武士の子ならば、おとなへの仲間入りを示す元服式を行って祝います。 著書「子どもが育つ 江戸しぐさ」越川禮子より

これは商人として一人前になることをイメージしているのですが、現代でも充分当てはまることばかりです。知識の詰め込みばかりではなく、人として一人前になることをもっともっと大事にしていかなければなりません。人間ができてくるとおのずと「志」が持てるようになり、そのために必要なことは何なのか自分で考えるようになるのではないのでしょうか。

今年は園田南小にとっても大きな節目の年となります。イノシシのように勢いのある、それでいて繊細で賢く、愛情深い年になるよう一丸となって取り組んでまいります。皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

1月 行事予定

1日(火)	元日	17日(木)	オープンスクール・避難訓練・書き初め展/租税教室(6年)	●
2日(水)		18日(金)		
3日(木)		19日(土)		
4日(金)	諸費振替日	20日(日)		
5日(土)		21日(月)	児童集会(保健)	
6日(日)		22日(火)		
7日(月)		23日(水)	クラブ(3年見学) なかよし作品展 児童生徒文化発表会(書道)	
8日(火)	始業式・大掃除 短縮授業	24日(木)	食育出前授業(6年)	●
9日(水)		25日(金)	キャリア教育(5年) 校内バスケットボール大会(6年)	
10日(木)	給食開始 ●	26日(土)		
11日(金)	委員会(6h)	27日(日)		
12日(土)		28日(月)		
13日(日)		29日(火)	児童生徒文化発表会(図工展)～2月2日(土)	
14日(月)	成人の日	30日(水)		
15日(火)	諸費振替日	31日(木)	学年活動(5年)	●
16日(水)		2月予定 1日(金)地区バスケットボール大会 5日(火)児童会役員選挙(6h) 8日(金)新1年生入学説明会(午前) 26日(火)参観・懇談会(5・6年・ひまわり) 27日(水)参観・懇談会(1～4年) 28日(木)6年生を送る会		

3学期生活目標

感謝の気持ちをもって、心豊かに過ごそう

1月のめあて
「ありがとう。」が言える子になろう



おまのせ

1. 17 避難訓練について



今回の 1.17 避難訓練は、1995 年 1 月 17 日午前 5 時 4 分 5 2 秒に起きた「阪神・淡路大震災」(死者 6 0 0 0 人以上)での教訓を受け、「今後起きるであろう、災害時の行動様式を児童、学校職員が認識し、冷静かつ適切に対応できるようにすること。」を目的に取り組みます。地震発生での第 1 次避難から、地震後の火災発生を想定した火災訓練としての第 2 次避難までを行います。安全な避難を最優先にして取り組みます。この取り組みに関しまして、ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いします。

また、今年は引き渡し訓練は行いません。児童のみでの実施となります。 よろしくお願ひします。
※廊下・運動場・体育館は、その日の天候により厳しい寒さになることも考えられます。子どもたちが、体調を崩さないよう服の重ね着等でご対応いただければと存じます。重ねてよろしくお願いします。

食育出前授業 (6 年) のお願ひ

日時 : 1 月 2 4 日 (木) 10 時 30 分～13 時 場所 : 視聴覚室 (講演) 家庭科室 (試食)
内容 : 1 ～ 6 年生の保護者の皆様にも講演後、家庭科室で白米の試食会に参加していただけます。その際、白ごはん合うおともをご持参していただいても構いません。詳細は、後日配布します別紙をご覧ください。